

# 中央官庁、地方公共団体へPR

日本フローリング工業会と合同で

フローリング協会

フローリング協会（外瀬泰宏会長）は6月29日、日本フローリング工業会（久津輪光一会長）と合同で中央官庁、東京、神奈川、千葉、埼玉の1都3県の地方公共団体にPR活動を実施した。

各会員が11のグループを組織して国土交通省、文部科学省、経済産業省の中央官庁と、全国建設室内工事協会、さらに東京23区を含めた地方公共団体の施設営繕や教育関連施設に携わる課などを訪問した。

訪問先には、フロー

文部科学省でPR



リング協会の主な活動や会員各社の企業紹介が盛り込まれた冊子が渡された。また、事前にアンケートも配布して、それを基に意見交換や要望、床関連の新築や改修の情報などを募った。

活動終了後には各グループによる訪問先での意見、要望などの報告会も企画。「木質フロアの良さを理解する声が聞かれ、材質を含め踏み込んだ質問を受けた」「地産地消とし

て地場産を腰壁や床に積極採用したいとの意見があった」「尺角のフローリングブロックは園児の整列にも役だっているそうだ」「木質フロア価格の目安に関して質問された」といった声が紹介された。

外瀬会長は「業界のかさ上げを図るうえでも継続することは一つの力。報告は後々の参考にもなるよう役立てたい」と結んだ。